大宮

THE OHMIYA HACHIMAN

令和７年（2025）
皇紀 2685 年

令和７年 わかば祭り（春の大祭）号
【第132号】

第10回フォトコンテスト 金賞『お稚児さんの行列』岡本 洋三氏撮影

2025年日本国際博覧会「大阪・関西万博」で日本の文化を発信する

当宮の崇敬者であるフラワーアーティストのＫＡＯＲＵＫＯ様（杉本薫子様）が、２０２５年日本国際博覧会（略称「大阪・関西万博」）の開会式のオープニングで、当宮の御朱印で使用している和紙（細川紙「２０１４年ユネスコ無形文化遺産登録」の工房「手漉き和紙たにの」の和紙）を三方に敷き、春日大社御用品の漆器を載せて、稲穂と桜を挿して美しい所作で表現されたことを伺いました。この稲穂については、日本館のテーマである循環「いのちと、いのちの、あいだに」から春の芽吹きを桜と稲穂で始まりの循環を意味されたとのことでした。毎日の当宮での朝御神饌祭でもまず御洗米からお供えしておりますが、神社の祭りからヒントを得て表現されたようです。開会式のオープニングを通して、世界の皆様へ日本文化の素晴らしさを発信されたことと拝察いたしました。

大阪・関西万博日本政府館開会式
KAORUKO フラワーショー
『循環～日本の四季』より
写真提供：KAORUKO（経済産業省より）

「大阪・関西万博」は令和７年４月13日から10月13日までの１８４日間、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに１５８の国・地域、７つの国際機関が参加し大阪市の人工島「夢州」で開催されています。

開幕を控えた12日には開会式が会場のＥＸＰＯホールで行われ、天皇皇后両陛下と秋篠宮皇嗣同妃両殿下が御臨席のもと、石破総理大臣や参加国の関係者などおよそ１３００人が出席しました。

天皇陛下は「『大阪・関西万博』を契機として、世界の人々が、自分自身だけでなく、周りの人々の『いのち』や、自然界の中で生かされている様々な『いのち』も尊重して、持続する未来を共に創り上げていくことを希望します」とおことばを述べられました。

思い起こせば、昭和45年（１９７０年）の大阪万博のアメリカ館で展示された宇宙船アポロ12号が持ち帰った「月の石」が万博の「目玉」として５時間も待つほどの人気ぶりでありました。当時新婚夫婦で「月の石」を目の当たりにした思い出がございます。今回の「大阪・関西万博」でも「月の石」が展示されると報道で伺い知りました。日本館では、日本の南極観測隊が発見した「火星の石」が展示されております。

当宮でも外国人観光客の皆様が参拝されております。「はちまんさま」を通じて多くの皆様へ、心のこもった「おもてなし」をお頒かちしたいと思います。

古来より春のお祭り、わかば祭り当日祭（尚武祭）は秋のお祭り・新嘗祭（にいなめさい）と一対の祈年祭（きねんさい）であります。

５月３日の第一日の儀にはこどもの祭り、第44回目の稚児行列が斎行され、午後には江戸消防記念会第九區（しんじょうさい）の梯子乗りが奉納されます。４日は第二日の儀、午後には植樹祭（献木祭）が、５日は当日祭（尚武祭）が斎行されます。

提供：2025 年日本国際博覧会協会

祭典では皇室を中心とする我が国の隆昌と世界の平和を祈り、今年の五穀の豊穣とあらゆる産業の発展、ご家業の繁栄、氏子崇敬者のご家庭の平安をお祈りさせていただきます。併せて大宮八幡祭（秋の大祭）や新嘗祭が盛大に斎行されますようお祈りをいたします。青葉茂る大宮の杜へご家族お揃いでお参りくださいますようお待ち申し上げております。

大宮八幡宮宮司　鎌田紀彦

わかば祭り（春の大祭）

御神苑の木々の緑も鮮やかな風薫る季節となりました。５月３日より５日まで**わかば祭り（春の大祭）**を盛大に斎行いたします。これに先立つ４月29日には、昭和天皇のご聖徳をおたたえ申し上げる**昭和祭**が斎行されます。大祭初日の３日には、**第一日ノ儀こどもの祭り（稚児健康祈願祭）**を斎行、第44回**稚児行列**が行われます。４日は、**第二日ノ儀**と午後には**植樹祭（献木式）**が行われ、献木のご協賛をいただいた方に観葉植物が授与されます。５日には**当日祭（尚武祭）**が大祭式にて斎行されます。当日祭（尚武祭）では、茶道裏千家淡交会東京第７東支部による**奉茶の儀**が行われ、宮司の祝詞奏上にて皇室国家の安泰・弥栄、五穀豊穣が祈念されます。５月３日には表参道にて春の風物詩**大宮八幡植木市**が開かれ、神門内では５月３日～６日に**みどりの会即売**が行われ、ご神前では多くの**神賑行事**が奉納されます。なお、５月24日には第25回**茶道裏千家献茶式**が行われます。

第44回 稚児行列

大祭初日の３日には、午前11時より**稚児行列**が行われます。わかば祭り**第一日ノ儀（稚児健康祈願祭）**終了後、社殿前で記念撮影をし、佼成学園吹奏楽部を先頭に猿田彦、陣羽織姿の役員総代、りんどう会役員の供奉に続いてお稚児さんたち、BS・GS、飛び入り参加自由の太鼓山車曳きの子どもたちの行列が神門を出発、神社周辺の１・３キロを練り歩きます。稚児は神々の依代とされ、その奉仕をすると健やかに成長するといわれています。

大宮八幡植木市

表参道では大祭期間中の３日に春の風物詩**大宮八幡植木市**が開催されます。色鮮やかな花々や新緑の苗木、園芸用品などが並べられます。

～献木のお願いと観葉植物の授与～

５月４日（みどりの日）は午後２時より大宮八幡宮**植樹祭（献木式）**が斎行されます。当宮みどりの会主催で第75回全国植樹祭（５月25日、埼玉県秩父市・小鹿野町にて開催）に因んで斎行され、各ご家庭にも緑を拡げようと**献木**のご協賛をいただいた方々には**観葉植物**が授与されます。献木のご協賛は社頭にても承っております。

献木初穂料一口　二、〇〇〇円

※年間を通じて承っております。但し、観葉植物の授与は植樹祭にご協賛の方のみとさせていただきます。

わかば祭り（春の大祭）祭典と奉納神賑行事

祭　典

昭和祭	4月29日
躑躅（つつじ）育木祭並びに皐月朔旦（さくたん）祭	5月1日
わかば祭り 第一日ノ儀	5月3日
こどもの祭り（稚児健康祈願祭）	
第44回 稚児行列巡行	
江戸消防記念会第九區 奉納梯子乗り	5月3日
わかば祭り 第二日ノ儀	5月4日
大宮八幡宮植樹祭（献木式）（主催みどりの会）	5月4日
わかば祭り 当日祭（尚武祭）	5月5日
奉茶裏千家（淡）東京第7東支部	5月5日
わかば祭り 終了奉告祭（直会乃儀）	5月5日

神賑行事

春の弓道奉納射会	4月29日
ユニセフバザー	5月3日
スカウトバザー	5月3日
佼成学園吹奏楽部奉納演奏	5月3日
古武道武技奉納	5月4日
杉並太鼓奉納	5月4日
野点茶会（裏千家淡交会東京第7東支部）	5月5日
方南エイサー踊り奉納	5月5日
雅太鼓奉納演奏	5月5日
奉納献燈提灯	4月29日～5月25日
園児画展	4月29日～5月25日
みどりの会即売	5月3日～6日
大宮八幡 植木市	5月3日
露　店	5月3～5日

第25回 茶道裏千家 献茶式	5月24日

昭和祭斎行

昭和天皇のお誕生日にあたる4月29日（昭和の日）午前10時より、昭和天皇のご聖徳をおたたえ申し上げる**昭和祭**が中祭式にて厳粛に斎行されました。昭和天皇は、御父君の大正帝の摂政宮を務められたのち、若くしてご即位され、戦前（16年間）、戦中（4年間）、戦後（43年間）の62年14日間と、明確な記録が残る歴代天皇の中で最も長く在位されました。終戦後我が国は、国民のたゆまぬ努力によって戦後の焼け野原から立ち上がり、見事に復興し、世界第2位の経済大国にまで発展を遂げましたが、そこには昭和天皇が香淳皇后とともに、常に国民に寄り添い「国安かれ、民安かれ」と世界の平和を祈られた尊いお姿がありました。昭和祭は昭和の日制定に伴い、平成19年から奉仕いたし今回で19回目を迎えます。

毎月お朔日参りには 月代り御幣守護を!!

当宮では古くより朔日（一日）、十五日に月参りをされる方々が多く、こうした方々に年間を通じて八幡大神様のご神威をお受けいただこうと、毎月の朔旦祭に併せてお朔日参りのご祈願として「**月参り大御幣振り神事**」を奉仕して「月代り御幣守護」を授与しております。

月毎にお申し込みの場合は初穂料三、〇〇〇円、年間一括でお申し込みの場合は初穂料三〇、〇〇〇円にて斎行させていただいております。

江戸消防記念会第九區 奉納梯子乗り

春の大祭期間中の5月3日午後2時、**江戸消防記念会第九區**による**奉納梯子乗り**が行われます。江戸の火消しでもあった鳶職人の訓練として、江戸時代に始まったとされる梯子乗りは勇壮で、長年培われた伝統と技術が観る人を圧倒させます。

第25回 茶道裏千家献茶式

5月24日に第25回**裏千家献茶式**が茶道裏千家今日庵鵬雲斎千玄室大宗匠（先代15代家元）のご奉仕にて斎行されます。宮司の祝詞奏上の後、103歳を迎えられた大宗匠のお手前にて濃茶と薄茶がご神前に献じられます。境内では裏千家淡交会東京第6東支部の奉賛により早朝より添釜茶会が催されます。また大宮幼稚園では**園児茶席**が開かれ、園児たちが日頃のお稽古の成果を披露します。

新春社頭往来

1月1日
能楽師　野村　昌司氏
立正佼成会会長　庭野　日鑛氏
立正佼成会理事長　熊野　隆規氏
立正佼成会常務　橋本　正晴氏
立正佼成会杉並教会長　川本　貢一氏
立正佼成会時務部長　榎本　光良氏
一條　實昭氏
保子氏
實嗣氏
石原　伸晃氏
里紗氏
伸　武也氏

1月2日
弓馬術礼法小笠原教場　三十一世宗家　小笠原清忠氏　他35名

1月3日
堤　公長氏
紀子氏

1月4日
フラワーアーティスト　KAORUKO　杉本　薫子氏

1月6日
日本ブライダル文化振興協会
会長　清原　當博氏
前会長　勝俣　伸氏
専務理事　野田　兼義氏
鈴木　直樹氏
佐々木貴士氏
這禽　恵子氏
野田　ルミ氏
迫田今日子氏

1月7日
杉並税務署所長　月岡　憲幸氏
岡　正志氏
大園　篤士氏
渡辺　ルミ氏

1月10日
大國魂神社宮司　猿渡　昌盛氏

1月15日
日枝神社宮司　宮西　修治氏

3月28日
乃木神社権宮司　神山　信一氏

献燈提灯奉納のご案内

わかば祭りの期間、4月29日から5月25日まで皆様方のお名前（ご社名）を入れた献燈提灯を掲出いたし、ご社頭を賑々しくお飾りさせていただいております。

春の大祭後の主な行事（予定）

御嶽榛名神社例祭　5月16日
第46回 大宮さつき展　5月18日～5月26日
神功皇后祭　6月3日
大祓詞書写会　6月21日～29日
事前大祓　6月25日～30日
夏越の大祓・茅の輪くぐり　6月30日
第27回 乞巧奠
大宮八幡 乞巧潜り　7月1日～15日
七夕の神遊び（技芸上達祈願祭）　7月7日
雅楽の夕べ（雅楽と神楽舞）　7月上旬
第25回 納涼大宮天神こどもまつり書画行燈掲出
第25回 杜のひびきinおおみや（和太鼓演奏）　7月24日・25日
多摩清水社例祭（水神祭）　8月1日
第42回 戦没者慰霊祭　8月15日
別当墓地秋季慰霊祭　9月23日
第25回 十五夜の神遊び・月の音舞台　10月4日

杜の話題

新春の表情

元日午前零時、新玉の令和７年の幕開けを告げる宮司の**一番太鼓**が境内に響き渡り、神門が開かれると新春を祝う参拝者で境内はあふれかえりました。ご社殿ではまず、**神能「翁」**が観世流シテ方能楽師の野村昌司師により奉納され、続けて宮司奉仕による**歳旦祭引き続き新春厄除開運初大祈願祭（一番祈願祭）**を斎行し、新たな年の幸を祈りました。続いて午前２時30分には宮司により多摩清水社にて**若水**が汲まれ、ご神前にお供えされました。午前10時、立正佼成会庭野日鑛会長以下役員の方々が参拝され、一年の平安を祈念されました。２日は、小笠原流御宗家による恒例の新春除魔神事**蟇目（ひきめ）の儀・大的式**が奉納されました。３日には皇位の大元始めを寿ぐ**元始祭**が午前９時より斎行されました。

とんど焼き

小正月の恒例の行事である**とんど焼き（古神矢・古神札等焼納祭）**が、１月15日、斎行されました。ご社殿にて**月次祭並古神矢・古神札等焼納奉告祭**斎行ののち、境内の斎場で**古神矢・古神札等焼納祭**を斎行。祝詞奏上後の**火鑽神事（ひきりしんじ）**では御火鑽具を用いて浄火が熾され神職・参列員らが大祓詞を奏上する中、古神矢・古神札等が焚き上げられ、感謝と除災招福を祈りました。

初天神大祭

１月25日、大宮天満宮にて**初天神大祭**が斎行されました。年初の天神祭は受験の時期とも重なるため、受験生や保護者が参列し、合格・学業成就を祈願しました。

文化財防火デー消防訓練

昭和24年１月26日、奈良・法隆寺の金堂より火災が発生し、国宝の十二面壁画を焼失してしまいました。火事による貴重な文化財の消失を防ぐため、この日は**文化財防火デー**に制定され、当宮では杉並消防署のご指導のもと、毎年この日に**消防訓練**を行っています。午前10時、社殿より出火との想定で訓練を開始。通報連絡、初期消火、文化財の搬出、避難誘導に続いて杉並消防署、杉並消防団第２分団、当宮自衛消防隊により、ご社殿の屋根へ向かって**一斉放水**を行いました。地元大宮２丁目町会の皆さんにもご参加いただき地域の防災意識を高めました。また、幼稚園でも**車輌見学**など防災意識を高める取り組みが行われました。

節分祭　一年の邪気を祓う

季節の変わり目である立春・立夏・立秋・立冬の前日を節分といい、年４回のうちの特に立春前日の節分には、一年の邪気を祓う重要な神事が行われてきました。当宮では、午前10時より**節分祭**を斎行。祝詞奏上のあと桃の弓・葦の矢で「天・地・裏鬼門」の魔を射る**追儺（ついな）の除魔神事**を奉仕しました。ついで弓に矢を番（つが）えずに弦を鳴らす音で魔を退散させる**鳴弦の儀**が、雨天の為御社殿内にて宮司奉仕により行われました。次に当宮幼稚園の園児たちを対象に**豆撒き神事**を行いました。

大宮稲荷神社初午大祭

大宮稲荷神社の**初午大祭**が本年は2月6日に斎行されました。大祭当日は多くの初午幟奉納者にお集まりいただき、御奉納された214旒の深紅の初午幟がはためく中、宮司以下祭員により斎行され、商売繁昌、家内安全を祈念しました。当神社には姉妹友好神社の**竹駒神社**（宮城県岩沼市鎮座）も祀られており、同社の初午祭は旧暦で斎行され（本年は3月6日）、陸奥に春を告げるお祭りといわれています。

紀元祭並橿原（かしはら）神宮遥拝

2月11日は**紀元節**と呼ばれ、神武天皇が橿原の宮にご即位されて我が国が建国された記念の日です。午前10時、まず社殿にて**紀元祭**を中祭式にて斎行。ついで清涼殿の特設斎場にて**橿原神宮を遥拝**。「紀元節」を声高らかに斉唱し、聖寿万歳を三唱。皇紀2685年をお祝いしました。

天長祭並皇居遥拝

2月23日、**天長祭**が中祭式にて宮司以下祭員奉仕により厳粛に斎行されました。引き続き清涼殿の特設会場にて**皇居を遥拝**、聖寿万歳を三唱。天皇陛下のお誕生日をお祝いし、陛下のご長寿、国の弥栄を祈念いたしました。

梅花祭

2月25日は天満宮の御祭神である菅原道真公の命日にあたり、梅の花をこよなく愛でた道真公を偲び**梅花祭**が斎行されました。梅が枝、梅花米がお供えされ、天神様を崇敬する多くの方々が参列しました。

新春吉例 伊勢参宮旅行

新春恒例の伊勢参宮旅行が2月26日から28日にかけて行われ、今回は14名が参加しました。一行はまず東京駅より伊勢の**神宮外宮**へ向かい御垣内参拝をし、式年遷宮記念せんぐう館を見学しました。次に**内宮**へ移動し御垣内参拝、大々神楽を奉納しました。その後おかげ横丁を散策し、鳥羽シーサイドホテルに宿泊。2日目はまず伊勢国の東の玄関口として位置付けられ、「伊勢国一の鳥居」が設置されている七里の渡跡を見学し、三重県桑名市に鎮座する伊勢国二宮**多度大社**を正式参拝しました。午後は恵那遊覧船に乗船し、昼神温泉に宿泊。最終日は江戸の宿場の姿を残す妻籠宿を散策し、馬籠宿では藤村記念館を見学。愛知県一宮市に鎮座する尾張国一宮**真清田（ますみた）神社**を正式参拝後、帰途につきました。

参宮橋

多度大社

竹駒神社 例祭参列

3月6日、当宮と姉妹友好神社の関係を結ぶ宮城県**竹駒神社**（村田守広宮司）の**初午大祭（例祭）**が斎行され、宮司、内山・瀬沼両役員が参列しました。

東日本大震災・能登半島地震復興祈願

「私どもは3・11を忘れません」3月11日、当日の朝拝では、復興祈願の祝詞を奏上し、**大祓詞3巻**を奉唱しました。また、地震発生時刻の午後2時46分にはご参拝の皆様にも呼びかけて、東日本大震災、そして昨年1月1日に発生した能登半島地震の犠牲となられた方々へ**1分間の黙祷**を社殿前にて捧げました。

振武殿世話人代表交代

振武会世話人代表が橋本卓爾氏（写真左）より権田与志広氏（写真右）に交代することとなり、4月27日に奉告参拝を行いました。

別当墓地春季慰霊祭

当宮の別当寺であった大宮寺の歴代別当職、歴代の中野神主及び歴代宮司神職の御霊をお祀りする**別当墓地春季慰霊祭**を、春分の日である３月20日に斎行しました。

一万人のお宮奉仕 境内清掃奉仕

全国各地の神社仏閣にて清掃奉仕活動を展開している**一万人のお宮奉仕**の活動が３月21日に当宮にて行われました。正式参拝の後、境内の掃き掃除などの奉仕活動を行いました。清掃奉仕終了後には神職より講話を受けました。

勧学祭（ランドセルお祓い式）

小学校入学を祝いお子様の成長を祈念する**勧学祭（ランドセルお祓い式）**が、３月29日・30日に執り行われました。保護者に連れられ大きなランドセルを背負った新一年生たちが緊張と期待の入り交じった面持ちで祭典に参列し、小学校生活の充実と交通安全をお祈りしました。参列の皆様にはランドセルお守りと合格鉛筆、交通安全ステッカーが授与されました。

大宮八幡桜まつり開催

３月29日から４月６日にわたって**桜まつり**が開催されました。当宮境内より和田堀公園内の善福寺川沿いには約７００本の桜があり、時季になると一斉に開花して春を彩ります。期間中の土曜・日曜は午後８時まで開門、和田堀公園への往来も可能になり、境内には神楽殿前のベンチに緋毛氈が掛けられ朱傘が設置されました。篝火がたかれ、神社の風情を味わいながら春の一刻を多くの参拝者が楽しんでいました。また期間中には、桜の花びらがあしらわれた限定御朱印が授与されました。

りんどう会だより

１月15日、**とんど焼き神事（古神矢・古神札等焼納祭）**に併せて、恒例の厄よけぜんざいの授与奉仕を行いました。今年一年の無病息災を願ってご神火をいただいて調理したぜんざいを多くの参詣の方々にお召し上がりいただきました。

４月11日には、春の集いが６年ぶりに行われ、会員34名が出席し、懇親を深めました。

また、４月24日には、春の大祭に向けて、**御垣内清掃奉仕**が行われました。

大宮八幡宮敬神婦人会（りんどう会）では、随時会員を募集しています。お気軽に事務局（社務所）へお申し込みください。

氏子青年会だより

３月16日、**氏子青年の集い**が綜合結婚式場清涼殿羽衣の間・蓬莱の間にて行われました。開催に先立って社殿にて正式参拝が行われた後、来賓15名、合計46名が出席し盛会となりました。

戌の日詣りは子育八幡さまの当宮で安産祈願祭を！

※戌の日以外でも随時お受けしております。

ご祈願の方には**大宮八幡息長帯（安産腹帯）**と共に、へその緒で結ばれたお母様とお子様が健康にご出産の時を迎えられますようにとの願いが込められた「**母子緒守**」「**安産御守**」「**安産祈願絵馬**」を特別に授与しております。

戌（いぬ）の日早見表（令和７年５月～９月）

5月	6月	7月	8月	9月
5日(祝・月)	10日(火)	4日(金)	9日(土)	2日(火)
17日(土)	22日(日)	16日(水)	21日(木)	14日(日)
29日(木)		28日(月)		26日(金)

■は大安

大宮八幡の杜 春から夏へ

神功皇后祭

令和元年は、ご祭神であります神功皇后が摂政69年（２６９年）、陰暦の４月17日に御歳百歳で神上がりましてより１７５０年の式年にあたり、その年の皇紀９２９年の月日を太陽暦に換算した６月３日、**神功皇后千七百五十年式年大祭**を斎行しました。翌年より、まず御陵の**狭城盾列池上陵**（奈良県）を**遙拝**し、**神功皇后祭**を斎行いたしております。神功皇后（息長帯比売命）は、主祭神応神天皇の母君であることから聖母大神ともたたえられています。**安産子育ての神**として厚い崇敬を集め、戌の日には安産祈願を受けられる多くの参拝者で賑わいます。

大祓詞浄書（水無月書写会）

大宮八幡塾水無月書写会では夏越しの大祓に併せて、６月21日から29日までの間、りんどう会と共催で**大祓詞書写会**を開催します。期間中は午前９時半～午後３時半まで茶室神泉亭にて随時受付しており、約９００字の**大祓詞**を書写して大神様のご神徳を戴きます。なお、浄書された大祓詞は大祓に引き続いて行われる**奉納奉告祈願祭**にて神前に納められます。

水無月　夏越の大祓

６月30日は、午後４時より**夏越の大祓**が斎行されます。大祓は６月と12月の晦日に行われ、歴史は古く平安時代の儀式書である『延喜式』にも記されており、知らず知らずのうちに犯した罪や穢れを祓い清める神事です。一般の方々へは６月25日から**事前大祓**を行います（30日午後３時まで）。罪や穢れを移した形代を唐櫃に納めた後に神職のお祓いを受け、茅の輪を潜っていただき、当日と同じ形で大祓神事を行います。なお、30日当日午後４時の祭事は神職と神社役員のみにて執り行います。

「水無月の夏越しの祓する人は千歳の命延ぶというなり」

ロケこもごも

フジテレビ　わたしの宝物　第３話
令和６年10月31日放送

平安の雅び第27回乞巧奠と平成の七夕大宮八幡乞巧潜り

７月１日から15日まで、第27回**平安の七夕乞巧奠**が開催されます。清涼殿ロビーにて乞巧奠を再現しお祭りいたします。技芸上達を願う乞巧奠は、古く平安の世より宮中を中心に広く行われた祭事であり、現代でも堂上家であった冷泉家において行われております。また、神門前には梶の葉や五色の布を付けた**平成の七夕大宮八幡乞巧潜り**が設けられます。

大宮八幡乞巧潜り

乞巧奠

「乞巧守」を奉製

「大宮八幡乞巧守」を、７月１日（文月朔日祭）より25日の大宮天神こどもまつりまでの期間限定で授与します。笹竹に紅白の七夕人形が付けられ、学業や技芸の上達を祈願します。

乞巧結び五色布（諸祈願記入用）
乞巧五色御守

第25回納涼大宮天神こどもまつり 杜のひびきin おおみや

７月24日と25日の両日にわたり、第25回**納涼大宮天神こどもまつり**が行われます。24日は午後５時より大宮幼稚園園児、近隣の小中学生、崇敬者の方々からご奉納いただいた多数の**書画行燈**の献灯式が行われ、幻想的な雰囲気の中**宵宮祭**を斎行いたします。翌25日は午後５時半より**大宮天神こどもまつり**が斎行され、祭典の後**こどもあかり神輿**が元気よく巡行します。午後６時半には**杜のひびきin おおみや**（時間をはずした日の祭事）が開演され、和太鼓奏者の響道宴氏による勇壮な和太鼓の演奏が奉納されます。神門前では**子供のミ**

書画行燈の募集

納涼大宮天神こどもまつりにあたり、「書・画」の作品を募集します。奉納された書や画は、行燈に貼って灯りを点し、７月24日の夕刻より大宮天神祭の献灯としてご社殿前に掲出されます。書または水彩画は指定の用紙を、必ず横長に使用してご奉納（応募）いただいております。（※用紙は社務所にあります。［無料］）

二花火の集いが催され、大勢の子供たちで賑わいます。氏子青年会の**模擬店（夜店）**も両日出店されます。

多摩清水社例祭

8月1日は、葉月朔旦祭に引き続き御神水の湧き出る**多摩清水社**の**例祭**が斎行されます。水の大切な盛夏の時期に、水神様の御神徳をたたえ水の恵みに感謝の誠を捧げるお祭りです。神門を出た入口には、俳人阿波野青畝の「広き野に靈の清水のあるところ」と詠まれた句碑があります。

第42回戦没者慰霊祭

8月15日、第42回**戦没者慰霊祭**が斎行されます。当宮及び兼務社の氏子地域より出征された戦没者の英霊たちに感謝と追悼の誠を捧げ、世界平和を祈念します。

大宮八幡祭り（秋の大祭）祭典日程のお知らせ（予定）

本年度の**大宮八幡祭り（秋の大祭）**は左記の日程により斎行されます。

＊9月13日（土） 神輿神霊入れ祭・若宮八幡神社並白幡宮例祭

＊9月14日（日） 宵宮祭

＊9月15日（祝・月） 例祭併せて氏子奉幣祭・第37回神輿合同宮入り

＊9月16日（火） 神輿神霊返し祭

第12回フォトコンテスト作品募集中　～締め切りせまる～

大宮八幡宮の自然や祭典行事風景を、プロ、アマ問わず写真愛好家の方々の目で写し撮って、その作品を八幡大神様にご奉納いただく、第12回フォトコンテストを開催いたします。

今秋の大宮八幡祭り（秋の大祭）より境内に展示し、ご参拝の皆様にも楽しんでいただきます。

プロ・アマ・年齢不問
小・中・高校の学生さんも歓迎!
応募作品についての詳細は、社頭やホームページ上にてご確認ください。

協力写真店
フォトグラフ三光堂（大宮八幡宮入口）
カメラハウス本店（久我山）

締め切り日
令和７年７月31日

募集サイズ：
2L・4ッ切サイズ
大宮八幡宮に関係した作品であれば、風景・人物・行事等テーマは自由です。（1人5点まで）

審査風景

但し、各神事での撮影禁止事項をお守りください。

※入賞作品の著作権は応募者本人に帰属しますが、使用権は主催者に帰属するものとし、展示や当宮の出版物・広報・インターネット等に無償で使用させていただきます。（※各媒体掲載時には、氏名のみを掲載させていただきます。）

過去 11 回の最優秀賞（宮司賞）入賞の作品

第1回

『当たれ！』大野 貴義氏

第2回

『祭りだワッショイ！』大野 貴義氏

第3回

『後押し』杉園 幸司氏

第4回

『十五夜の神遊びで神様もお喜び!』奥村 泰子氏

第5回

『後光さす八幡宮』早川 幸子氏

第6回

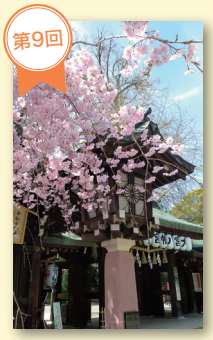
『竹取りの物語り』久保田 彬洋氏

第7回

『明日へ』小竹 秀雄氏

第8回

『お父さん、コロナ退散するといいね』畠山 敏郎氏

第9回

『枝垂桜と燈篭』濱田 文夫氏

第10回

『屋越の暮目乃儀』佐藤 多紀氏

第11回

『鳥居と同じ赤い橋』堀内 京子氏

初宮詣芳名（敬称略）

（令和6年11月21日～令和7年3月20日）

お子様のお健やかな成長をお祈りいたします

菅原一椛
伊藤花凰
森渓
平山湊喜
秋葉椋
山本莉人
冨永或音
知花彩生
伊藤稜央
三村恒晴
宮﨑瑛士
杉森風香
粕谷依央
粕谷実央
生長海里
宮本彩生
前田光理
千葉颯
桶田咲奈
波賀小夏
林慧樹
吉田雫玖
津田心望
山城璃央
平山瑚夏
柏原宇汰
坂本祭莉
薦田杏
伊藤楓
諸遊渉
山本直生
相原賢明
髙柳衣湖
伊藤悠真
中島小太朗
中島颯士

内田知佳
佐々木憬
小柳果楓
毛利玲
杉山志音
山岸奈未
徳永紗名
深澤撞真
毛利澄玲
大嶋那和
神田栞季
柳瀬蒼
池田凪紗
秋山塁
越智悠太
山元涼楓
高野倖
増田善
千葉弥
千葉稜
栗田華乃
榎本朱花
上野音羽
宮川未羅
奥野慧
成田央楓
青木響平
萩森大賀
山下陽
中潟楓
岡田美玖
洞庭一沙
柳原迅
角田慧
中井楓
小泉唯月

額賀智陽
秋元禄
西﨑詩織
佐藤叶侑
木村和夢
佐藤翠
大本里音
鎌田碧
真鳥来弥
木山聡士
後藤哲大
三上大輝
山田彩陽
谷内田英未
大園琉生
加治木陽斗
木村航基
武田善
川口紗楽
大金碧仁
長尾康平
田中陽椰
三澤瑠唯
北島尚央
髙橋璃大
山崎雅空
小栗百晴
小林朔
田中琉季矢
野浦英助
古山楓來
浅倉心陽
今井柊菜子
長谷川結乃
溝口遥己
松尾優我

藤井篤至
伊東由
大谷知誠
小野寺星七
松田果弥
前田藍凪
小川ハナ
島田櫂成
上野結依花
藁科凛桜
島薫子
神名俊輔
片山絵麗咲
宮本実怜
柴山陽向
弓野由貴
加藤藍
竹田みちる
北本鈴茉
渡辺瑛太郎
小出芽
田之上愛莉
國立朔玖
小畑晴大朗
圓谷桐也
吉田須晴
清水寛介
櫻井彩遥
海瀬逞斗
樋口恵那
駒田玲衣
山城凛桜
吉田楓
鯨井円椛
並木結椛
瀬田川結乃
大畑ユキ
西野桜璃
大城凪稀
二星陽紀
岩見尚
森遥香
岩原史歩

羽鳥遥陽
鯨井花奈
木村蓮
木村悟
多田知央
蛭田椛巴
渡部緋菜
小野田煌
菅原遥佳
後根大智
女鹿珠鈴
石黒豊和
緒方悠人
清水陽太
長谷川蒼
矢澤未彩
梅原茉矢
桐原湊
櫛野花凜
三矢理広
金子頼仁
斧原生弦
久保田誠悟
大島悠翔
本村藍
風間美織
亀井一織
三井百真
神原紬
常盤木莉玖
小林瑞季
寺島正美
米田遥
小林詩
亀井結月
猪原千聖
櫻井小花
菊池直央
高橋英大
矢嶋奏咲
相馬遥斗
山本蓉
岩崎千暁

堀内統嗣
國弘和玖
真下晴気
阿部望未
塩塚充幸
伊東碧海
山田琉楓
佐々木莉里
森野すず
西山心
嶺倉灯
今井月葵
野島萌咲子
河井美燈
和田琴希
屋田月麦
加藤紗凪
乳井綾杜
倉繁穂吏
野村明蒼
松原唯燈
依田佑絃
長澤乃々葉
大岡丈流
森充希
直井涼真
河合凜花
田所愛菜
大和矢紘
大上響平
松本格
髙山航希
本陣聡太
杉本椋
舩坂樹
岸本真拓
小滝百花
赤荻杏香
小林愛実
伏見紘
畑中陸玖
小嶋陽
寺島百加

上田結翔
髙橋紗永
猪狩大我
新正嶺
白木瑠一
ユシンキ
佐藤由弦
櫻澤連縁
藤平紀帆果
武恭之介
宮本薫
小島凪
佐々木海音
柳原史織
北嶋亜礼久
尾又瑛菜
小峰天
宮本凪
泉水大知
貴島虎治郎
花田美桜
下田采和
手塚日貴
小池承太郎
渡邉月綺
岡本瑞生
清水絢葉
渡部雄心
田澤聡大
石川花乃
渡邉仁
志村燈矢
春日陽介
金田彩那
佐藤ひかり
壁谷要
大橋叶彩
六車栄惺
中名生祐
水木葵唯
衣斐春
山名類
中西陽斗

どんぐり通信

おおみやようちえん

一緒に卒園

副園長　草村敏子

園庭の桜の蕾が少しほころび始めた3月18日に令和6年度第75回卒園式が執り行われました。当日の天気は少し肌寒さがありましたが青空が見える卒園式日和となりました。

最初に御神殿で卒園奉告祭を行い、国歌斉唱・神前拝詞を唱和して、次に外拝殿で卒園式となりました。園歌を斉唱した後、代表園児に園長先生より保育証書が手渡されました。式次第が進み、言葉遊びで学んだ宮沢賢治の詩「雨ニモマケズ」を全員で朗読しました。そして、お別れの言葉を述べたあと、「君と僕のララ」を歌いました。とても長い歌詞でしたが子どもたちの歌声は素晴らしく、その姿は凛々しく立派に見えました。

園舎に戻り、各クラスに別れて名簿順に親子で赤い絨毯を踏みしめながら担任の先生の前に進み、保育証書をいただきました。この赤い絨毯を歩きながら3年間の園生活が走馬灯のように思い出されると毎年保護者の方と担任の先生が感想を述べてくださいますが、今年はいかがでしたでしょうか。

そして体操と課外でのサッカーを指導してくれました竜崎先生も子どもたちと共に当園を卒園することになりました。教え子の中にはサッカーで才能を認められている子もおり、お別れの3月19日には100人以上の子どもと保護者の方が集まり、それぞれ感謝の言葉を述べていました。その人気ぶりに私達職員も圧倒されましたが、こんなにも素晴らしい先生に子どもたちは教えていただき、感謝の気持でいっぱいになりました。

竜崎先生！23年間有難うございました。

「大宮幼稚園ありがとう」

ジャクパ・スポーツクラブ
体育講師　竜﨑 彰男

この度、私は23年間お世話になった大宮幼稚園を3月末をもって去ることになりました。長い間、この場所でたくさんの思い出を作ることができました。運動会やドッジボール大会、お泊まり保育など、数えきれないほど楽しい時間を過ごし、子どもたちと共に成長してきました。毎日、子どもたちと遊んだり、話したりすることが楽しくて、私にとってかけがえのない経験となりました。

私は子どもたちが大好きで、また体を動かすことが好きです。これから、新しい場所でも子どもたちと一緒に元気いっぱいに活動して、成長を見守っていきたいと思います。

新しい場所での挑戦が始まりますが、ここでの経験を活かして、さらに頑張っていきます。これまで支えてくださった皆様に心から感謝申し上げます。

ありがとうございました。

横井千晴
川瀬悠乃
大和田蒼羽
田畑琴葉
菊地琉楓
山口煌力
清水なぎ沙
倉橋洸希
清水莉
佐々木丹花
保坂琉羽
吉川仁翔
岩下志謙
小暮柚輝
立花百楓
河野優依
池上怜
菅沼光里
今井結晴
谷岡風玖
森野結希矢
髙田紗永
永久乃蒼
冨澤律
内藤楓
草木陽葵
森翠葉
黒谷桜冬
福澤遥
榎本琉志
榎本朱珠
本多咲茉
荻原経
大串環奈
酒井惟樹
黒岡すず奈
堀楓花
野辺龍生
大谷考輝
網野紘華
毎熊善生
岡嵜纏
松尾なゆ

光野賢翔
小嶋千紘
中道湊音
得永聖花
谷次航暢
望月穂昂
岩間有花
知久実叶
小林咲舞
有川智陽
大野恵汰
石田朔太郎
遠藤暖奏
中村紅之介
飯野櫂
熊田雅
山﨑燦
磯田靖之
田中日陽
村山賀一
香西悟弥
田牧海人
加賀楓季乃
朝倉三智
興村澪奈
諸藤成
貫井和来
白沢律樹
新井綺音
傘木想葉
小宮大一志
福原朝陽
葛岡凌久
塩谷悠
廣瀬翔一
堀貴哉
平原千晴弥
榎本伊織
大髙聖奈
秋元結葵
金森彩羽
川村早彩
平岩大知

一色倫太朗
シール杜和
今井笙太
宮元稀帆
竹内碧
須田詩
水梨冴都
太田瑞樹
伊藤優杏
松原旦
大迫陽海
佐藤礼実
鶴淵紀帆
古川遥人
山花昇太朗
青木大芽
西山恒史朗
松岡蓮弥
浅川晴
塩田優茉
丸山蓉太
光本柊
伊藤一花
清水琴子
藤原陽縁
清水怜央
竹田丈思
牛越帆乃里
門阪円架
川崎瑞貴
星野泰冴
高野唯愛
松岡希衣菜
三浦えみり
射場七椛
白鳥蒼羽
阿部匠翔
藤渕来望
木原凪葉
矢澤結仁
畠山旅
藤川航成
髙瀬圭人

結城琥景
池上佑奈
沼田惺来
吉田翠珠
長山実樹
白神響己
佐藤優笑
五味慶斗
加藤生吹
福地海理
扐瀬燈花
吉田壮良
江原漣利
鈴木美詞
武田柊澄
今野碧唯
原嶋柊和
橋本怜苑
大塚舞征
網本悠馬
中嶋一太
橋本樹
竹前璃律
簾柊太
星野月
本澤すず乃
河野亘
林律輝
秋永穂乃
室田菜月奈
安生悠人
山本蒼介
豊原遥瑠
渡邉拓真
山田柊太
太田理斗
岩上紘士
野中栄里
安藤充彩
内山理翠
鈴木大椰
豊島空都
大場光稀

新井奏多
山口雄照
久保陽菜乃
森ディエゴ
松原衣音
藤代晴也
依田波音
山口彩冬
山田茉希
福田琉空
城川維澄
春日琴
武田紗英
森紘葉
吉良山泰雅
村田結衣
渡邊芙美
片山巧巳
関根明咲
菅野凪咲
吉田梓紗
岡田一花
土居眞晴
藤道真奈
大熊日陽
久島糸吹
相田篤人
簗瀬陽
雨宮楓
笠川朔斗
木下稜月
柿田結良
森下千颯
大久保紬希
藤堂心音
比嘉海瑠
成田陸人
金田柊
荒木柚乃
北山大陽
名取朔
村上結誠
茂木柊佳

石原惺琉
佐藤紬生
鯨井亮弦
佐藤咲奈
小澤怜央
宮城柚希
森岡桃音
石川乃椛
原海翔
舟越倫
岩楯彩世
川原ゆい
佐々木晟
安藤澄南
山口栄一樹
大目木律
青柳麦歩
星野日花
藤野瑛成
吉成陽真希
久保田道晴
内田心愛
ジョン一誠
阿部芯哉
川口恵里奈
木村禮
髙橋颯也
岩出寅之介
飯嶋一愛
大津彩羽
陣内元誠
裏谷温
鈴木里紬
成田琉来
佐藤柊月
渡邉芽生
金谷一夢人
二見紀衣奈
池水陽希
中村茉白
井上燈春
志岐喜紘
富田陽葵

宮重碧生
池村凪咲
榑林祐斗
十三京馬
野口悉斗
清野結太
木村大寿
佐々木啓翔
内川遥葵
津田大翔
清水勇希
岡﨑大和
山田灯理
森榮太郎
國元康平
渋谷和生
岡野睦

後藤碧衣
浅賀凪葵
植野柊
末柄奏芽
中田瑛
北岡昂
柳香帆
竹内朝
鳥潟龍冬
加藤碧純
本郷立樹
平谷海翔
奥山朝陽
古枝凜奈
越河彩陽
山口柚希
大場楼

橋本秋穂
平野岳
安西穂乃佳
水越昂
中新井こうめ
鈴木遥大
石井木花
小林柚葵

結婚式挙式者芳名（敬称略）

（令和７年１月１日～３月31日）

森嶋 晴夫・奈香
加藤 亮司・理恵

十三参り祈願のご案内

古来より数えで13歳になった少年少女が盛装して氏神様に参拝し、お祓いを受ける行事です。

13歳という年齢は自分の生まれた「えと（十二支）」が丁度一巡りして元の「えと（十二支）」に戻る年であることから、これまで健やかに成長できたことへ感謝するとともに、これから知徳・福徳・美声等を授かるためにご祈願いたします。

関西地方（特に京都）では七五三と共に大切な人生儀礼となっています。

祝 七五三詣

七五三衣裳展示会は随時行っております

事前にご予約のご連絡をお願いします。

七五三年齢表

七歳 女児	平成31年生 令和元年生
五歳 男児	令和３年生
三歳 男・女児	令和５年生

※生まれ年と年齢は数え年によるものです。
満年齢でお受けいただいても差し支えございません。

緑豊かな都心の杜（もり）。
感動の瞬間（とき）

初宮詣
集宴会

衣裳・美容着付・写真・
初宮饗膳（ご会食）など
承ります。

清涼殿　03(3312)7515

わかば祭り（春の大祭）　5月3日～5日

わかば祭り 第一日ノ儀　こどもの祭り（稚児健康祈願祭）〔３日〕

第44回 稚児行列に、吹奏楽・スカウト・猿田彦・役員総代・こども太鼓山車など多くが供奉。

こどもの祭り（稚児健康祈願祭）

猿田彦を先導に役員・りんどう会と続く

太鼓山車を曳く子どもたち

わかば祭り 第二日ノ儀
植樹祭〔４日〕

植樹祭

わかば祭り 当日祭（尚武祭）〔５日〕

宮司以下祭員の参進

大宮幼稚園園児による朝日子の舞奉奏

大祭期間中（３～５日）、境内では連日神賑行事が奉納されます。
参道には露店が出店、大宮八幡植木市も行われます。

佼成学園吹奏楽部奉納演奏〔３日〕

江戸消防記念会第九區奉納梯子乗り〔３日〕

古武道武技奉納〔４日〕

大　宮　第 132 号
令和７年 春の大祭号

令和７年５月１日発行

大宮八幡宮社務所

〒168-8570
東京都杉並区大宮２-３-１
電話（3311）0105
FAX（3318）6100
Mail：info@ohmiya-hachimangu.or.jp

杉並太鼓奉納〔４日〕

野点茶会（チャリティ）〔５日〕

雅太鼓奉納演奏〔５日〕

方南エイサー踊り奉納〔５日〕